

情報連絡員報告総括表（令和6年6月分）

三重県中小企業団体中央会
連絡員総数 40名
回答数 40名（100%）

業界の景気動向（前年同月比）

		売上高			在庫数量			販売価格			取引条件			収益状況			資金繰り			設備操業度			雇用人員 <small>（臨時・パートを含む）</small>			業界景況								
		増 加	不 変	減 少	増 加	不 変	減 少	上 昇	不 変	悪 化	好 転	不 変	悪 化	好 転	不 変	悪 化	好 転	不 変	悪 化	上 昇	不 変	悪 化	増 加	不 変	減 少	好 転	不 変	悪 化						
製 造 業	食 料 品	1	3		2	2			4		1	3			4			4			4			4			4							
	織 維 工 業			3		2	1	3			1	2			2	1		3			3			3			1	2						
	木 材 ・ 木 製 品			1		1				1			1			1		1				1		1				1						
	紙 ・ 紙 加 工 品		2			2		2			1	1			2			2			1	1		2			2							
	印 刷		1			1			1			1				1		1				1			1			1						
	化 学 ・ ゴ ム																																	
	窯 業 ・ 土 石 製 品		2	1		3		1	2			3			2	1		3			3			3			3							
	鉄 鋼 ・ 金 属	1				1			1			1			1			1			1			1			1							
	一 般 機 器		3		2	1		2		1		3			1	2		2	1		2	1	1	2			1	2						
	電 気 機 器			1		1			1			1				1			1			1		1				1						
	輸 送 機 器			1	1					1		1				1			1			1			1			1						
	そ の 他																																	
小 計		2	11	7	5	14	1	8	9	3	3	16	1		12	8		17	3		14	6	1	17	2		12	8						
非 製 造 業	卸 売 業		2			2		1	1			2			1	1		2		X				2			2							
	小 売 業	1	3	2		6		2	4			5	1		4	2		4	2					6			4	2						
	商 店 街		1			1		1				1			1			1						1			1			1				
	サ ー ビ ス 業		3	1	X			2	2			4			3	1		3	1					3	1		3	1		3	1			
	建 設 業	2	2					2	1	1	1	1	2	1	1	2	1	2	1					3	1		3	1		2	2			
	運 輸 業		1						1			1			1			1						1			1			1			1	
	そ の 他		2						2			2			2			2						2			2			2			2	
小 計		3	14	3					9		8	11	1	1	16	3	1	13	6	1	15	4		18	2		15	5						
合 計		5	25	10				5	23	1	16	20	4	4	32	4	1	25	14	1	32	7		14	6	1	35	4		27	13			

最近の主要指標の前年同月比D Iの推移

(令和5年6月～令和6年6月)

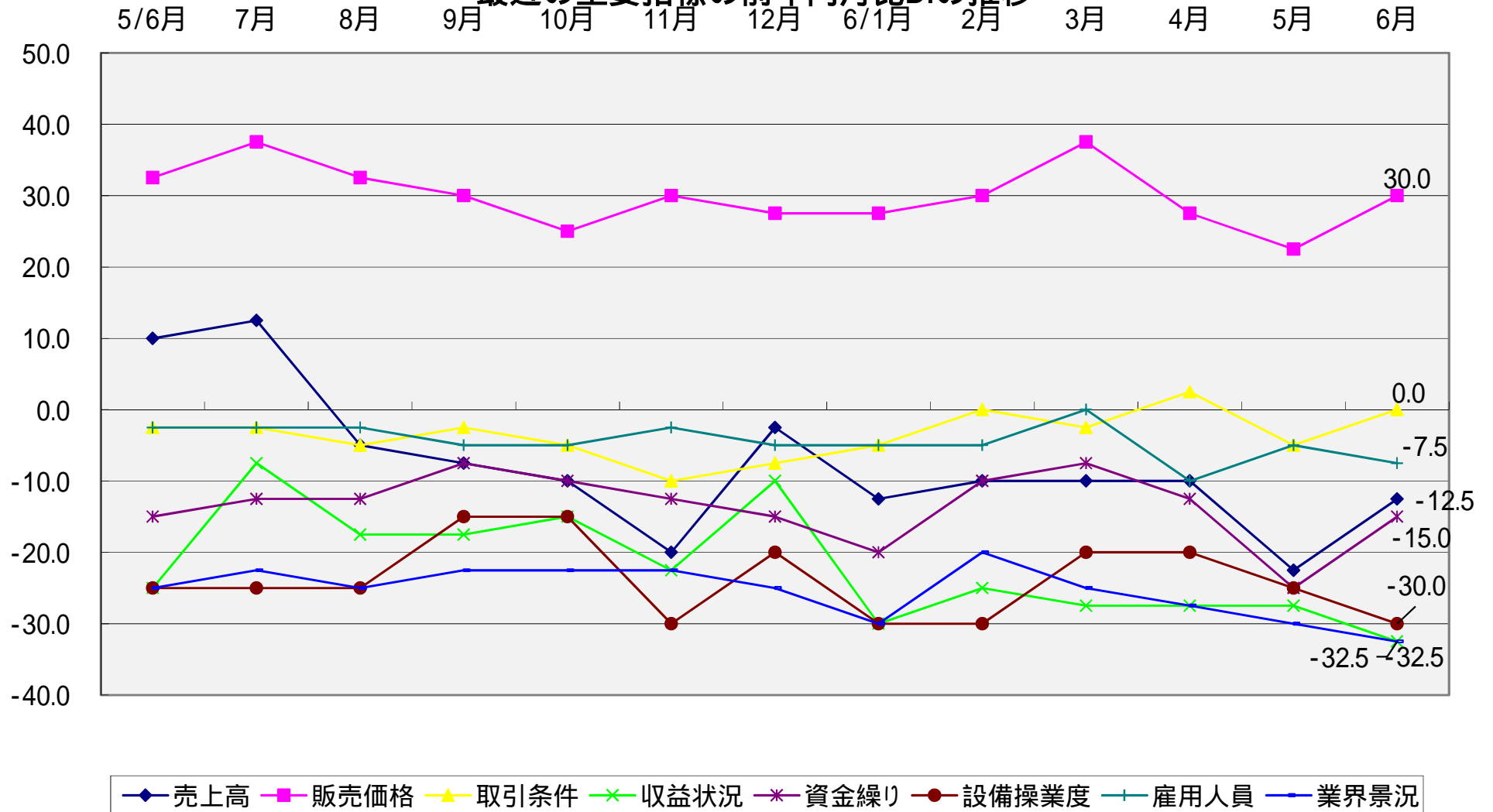
三重県中小企業団体中央会

連絡員総数 40名

	5/6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	6/1月	2月	3月	4月	5月	6月	増減
売上高	10.0	12.5	-5.0	-7.5	-10.0	-20.0	-2.5	-12.5	-10.0	-10.0	-10.0	-22.5	-12.5	10.0
販売価格	32.5	37.5	32.5	30.0	25.0	30.0	27.5	27.5	30.0	37.5	27.5	22.5	30.0	7.5
取引条件	-2.5	-2.5	-5.0	-2.5	-5.0	-10.0	-7.5	-5.0	0.0	-2.5	2.5	-5.0	0.0	5.0
収益状況	-25.0	-7.5	-17.5	-17.5	-15.0	-22.5	-10.0	-30.0	-25.0	-27.5	-27.5	-27.5	-32.5	-5.0
資金繰り	-15.0	-12.5	-12.5	-7.5	-10.0	-12.5	-15.0	-20.0	-10.0	-7.5	-12.5	-25.0	-15.0	10.0
設備操業度	-25.0	-25.0	-25.0	-15.0	-15.0	-30.0	-20.0	-30.0	-30.0	-20.0	-20.0	-25.0	-30.0	-5.0
雇用人員	-2.5	-2.5	-2.5	-5.0	-5.0	-2.5	-5.0	-5.0	-5.0	0.0	-10.0	-5.0	-7.5	-2.5
業界景況	-25.0	-22.5	-25.0	-22.5	-22.5	-22.5	-25.0	-30.0	-20.0	-25.0	-27.5	-30.0	-32.5	-2.5

(注1) 「D I」はデフレーション・インデックスの略で「増加」・「好転」したとする企業割合から、「減少」・「悪化」したとする企業割合を差し引いた値である。

最近の主要指標の前年同月比DIの推移



報告者名
報告年月

三重県中小企業団体中央会
令和6年6月

情報連絡一覧票

集計上の分類業種	具体的な業種 (産業分類細分類相当)	組合等及び組合員の業況等 (景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点)
食料品	漬物	生産者の高齢化と後継者不足により、一部業者の中では漬物原料野菜の供給不足が続いている。また、ウクライナ戦争の影響及び円安による諸資材の高騰により、特に電気代の値上がりが経営を圧迫する状態が続いている。東海農政局三重県拠点より、輸出促進の取り組みに係るヒアリングの訪問依頼が有り、伊賀越(株)において、県内の漬物業者の現状や輸出関係の取組等について、ヒアリングが行われた。
	醤油味噌	今月は特に変化はなく、通常の状態が続いている。今月は上部団体が募集した輸出関係の展示会が海外1カ所、国内1カ所であり、組合員4社が出展した。国の農林水産物の輸出促進政策によるもので、国の補助金を活用して実施されている。輸出は組合員により対応が違い、積極的に輸出を行っている組合員とそうでない組合員があり、温度差がある。組合としては、現状では補助金を活用した展示会に、年1回組合員企業と合同で出展しているが、年々補助金の額が少なくなっているため効果的な活用方法を考えていかなければならない。
	他に分類されない食料品 製造業	学校給食の委託を受けている状況で加工賃が上がらない中、電気・ガス・ガソリン等の経費が上昇しており、その上、パート従業員の社会保険加入もあることから、加工賃の値上げを切に願う。
	製麺	今月は、組合活動はなかった。全国製麺協同組合連合会にて、6月29日(木)に総会が開催された。現在、全国の組合員数は783となり、年々減少傾向にある。残っている全国の組合員と新たな取り組みを進めていきたい。
繊維工業	衣料縫製	市場全体のインフレとともに、婦人服の値段も上昇し、加工賃も共に上がったものの、消費者の買い控えもあり、販売は伸びていない。夏物クリアランスが本格的に始まり、それに伴って在庫が少なくなることを願う。
木材・木製品	木材	円安の進行と物流の2024問題等による燃料費、輸送費等のコスト高騰、需要の低迷により、経営を圧迫している。
紙・紙加工品	木材チップ	原材料価格が高止まりしているため原料確保が課題である。
	古紙	6月の古紙仕入れ量であるが、段ボール・約95±3%、新聞、チラシ・約89±8%、雑誌・雑がみ、その他を合わせて約91±4%である。160円台の円安水準でも三重県の地方都市でのインバウンド効果は、影響が余り感じられないが伊勢神宮や長島スパーランド等の観光地は効果が見られる。製紙会社からの古紙の発注量は、前年並みであるが、同業者の古紙在庫はほとんどなく、古紙の集荷も一部の業者を除いて少ない。160円台の円安で製品(原紙)、輸出古紙価格も円手取りで上昇傾向のほはずであるが、海上コンテナ等の使用料金の大幅な値上げが影響し、前月より5円から8円程度の値下げ価格である。2024年の運送問題については、運賃値上げをした企業の荷物は、通常通り流通しているが、運賃値上げが出来なかった、もしくは、しなかった企業の商品発送は停滞しているようである。古紙の持ち去りも更なる円安による資源物の高騰で活発化し、古紙や古着の持ち去りやゴミの置き去り行為等は、更に発生し続けているが、古紙問屋の全国組織も新体制となり、国会での立法化に期待している所である。
印刷	印刷	昨年、三重県民手帳の受託が今期も当組合になった。昨年分は、これまで販売先としてきた東京三重テラスでの販売を行わなかったが、三重県との交渉において、今回販売先として再開できるようになった。また、組合で12年6期理事長を務めた者が理事長交代となり、新執行部体制となった。
窯業・土石製品	伊賀焼	ほとんどの組合員が忙しかったが、原料、光熱費の高騰による価格への転嫁に悩んでいる。
鉄鋼・金属	鍍金	業界の生産額は、前年前月よりもやや増加した。従来の自動車関係の受注が徐々に戻ってきている。今後についても堅調な状況が期待できる。
一般機器	四日市市	各企業により差はあるが、引き合いは停滞している、また、短期期、受注価格低下などが顕著にみられる。今後も数か月先の予定が立てにくい状況が続くと思われる。原材料費の価格上昇はまだ続いている状況であり、引き続き物価上昇、賃金の上昇に合わせた価格への転嫁を進めていく必要がある。
	津市	売上額は昨年とあまり変わらないが売上数量でみると昨年より悪く、受注は思うほど増加していない状況が続いている。単価の値上げ交渉もあまり認めてもらえず、大企業との格差が広がっているように思える。交渉の結果、他社に受注が流れてしまう不安感もあり、厳しい状況が続いている。
	伊勢市	設備関連は悪く、それ以上に自動車関連が悪い。相変わらずの低調な状況が続いていて、上昇の気配が感じられない。収益状況は横ばいで、受注も低調で推移しており、先行きが見通せていないのが現状である。

情報連絡一覧票

集計上の分類業種	具体的な業種 (産業分類細分類相当)	組合等及び組合員の業況等 (景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点)
	電気機器	鳥羽市 上期の端境期であり、期待している数値は変動がなく状況は厳しい。
	輸送機器	伊勢市 中国の景気回復には時間がかかりそうで、当面厳しい状況が続く見込みである。物量減少により、残業時間も減少しており、生活費への影響があるなど、消費への悪影響も感じられる。また、業績低迷が継続してきており、従業員のモチベーションの低下も心配である。賃上げは、世間の状況をみながら相応な対応としたが、賞与では前年・前期比で減らさざるを得ない状況である。賞与月数を減らしたとしても、賃上げの反映分があることから重荷となっている。
非製造業	青果	野菜前半：高値が続いたキャベツも愛知県産や茨城県産の入荷が増え、価格も安くなってきた。長野県産ハクサイ、レタスもお買い得になった。岐阜県産や熊本県産トマトも順調に入荷し、安定価格となった。ジャガイモの入荷が少なく価格を上げた。野菜後半：人参は、高値が続き昨年並みの入荷量である。トマト・ナスも入荷が順調で価格が下がった。キャベツは入荷が安定し平年並みの価格となり、長野県産ズッキーニは入荷が増え価格もお手頃である。ブロッコリーもお買い得になった。ジャガイモ・タマネギ・人参は高値が続いている。果物前半：初夏の味覚タカミメロンは熊本県産が終盤になる一方、愛知県・茨城県産の入荷が始まり価格が落ち着いてきた。島根県産デラウェアは最盛期でお値打ちである。梅は暖冬や春先の低温などの影響で不作となり、量も少なく高値となった。果物後半：愛知県・茨城県産のタカミメロンがお買い得となっている。愛知県、熊本県、鳥取県産のスイカも順調に入荷している。山形県産サクランボも例年より入荷量も少なく終わりも早い。青森県産リンゴ、山梨県産のモモの入荷も少ない。
	小売業	自転車 記録的な円安により輸入物価の上昇は消費を冷やし、景気の足かせとなっている。この物価高に直面する家計負担の増加、年金改定による年金額の目減りと、家庭の財政はさらに悪化の状況となっている。自転車業界においても、消費の伸び悩みにより、商品がだぶつき、一部メーカーは赤字覚悟の値下げを打ち出してきた。しかし、修理面の売り上げも少なく、買い控え等の商品の動きが鈍いことから、各ショップの反応はなく興味を示さない状況である。この様に収益環境が厳しい中、中古車の問い合わせが多いのも現状を物語っている。
	電器	夏商戦が始まり、梅雨の時期としてはそこまで雨が多かったように感じなかった。序盤は気候がよかったため、あまり商品の動きは多くなかったが、後半暑さが増したあたりから、エアコンをはじめとする商品が動きかけてきた。価格面の全体が高騰している分、勧めにくいところはあるが、省エネキャンペーンのおかげでフォローされている。更に暑さが増すところで、売上アップを期待している。
	石油	政府は、経済財政運営と改革の基本方針2024(骨太の方針2024)原案で、燃料油価格激変緩和措置を一定期間講じつつ、早期終了に向けて出口を見据えた検討を行うことを明記した。激変緩和事業は、4月末の期限を一定期間延長する方針に基づき現在も継続中である。石油業界からは事業終了の際、流通現場の混乱を回避するため、早期の情報提供やソフトランディングを強く求めている状況にある。
商店街	熊野市 20年前の7月に世界遺産登録された熊野古道は今年記念イベント等が開催され、盛り上がりが見込まれる。ただ現状は10年前の記念年に比べ、浸透がされていないように感じる。市などが主催する記念イベントなどは、秋に集中しているようであり、今後は一般人への積極的な周知が必要かと感じる。	
サービス業	旅館	5月のGW明けより続いている低調な業況が、今月は連休もなかったため、盛り上がりのないまま終わった。対前年比90%、2019年同月比70%程度のものである。ゴールデンルートの賑わいが報道されているが、近くの三重県へ立ち寄り、官民あげてPRする必要がある。
	警備	総合工事業の公共工事の県内発注状況は、前年度と比べて厳しい状況となり、現在の警備員数は足りているが、この先、発注が多くなると例年の如く警備員数の不足が懸念される。
建設業	総合工事業	5月末時点の公共工事の県内企業の受注状況は、前年度同月比で微増の状況であった。国発注工事においては減少、県、市町発注工事では、増加傾向である。
	内装工事業	6月は対前年同月比でプラスとなった。5月はマイナスであったため、今後も同様に上下する可能性がある。
	水道工事業(亀山市)	亀山市からの委託業務については、前年比で量水器の取替個数は、本年度、増加している。濁水については、この2か月は減少傾向であった。給水設備については、資材等が依然上昇傾向であり、受注・施工が各社厳しい状況が続いている。

報告者名
報告年月

三重県中小企業団体中央会

令和6年6月

情報連絡一覧票

集計上の分類業種	具体的な業種 (産業分類細分類相当)	組合等及び組合員の業況等 (景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点)
----------	-----------------------	--

行政庁・中央会に対する要望事項

集計上の分類業種	具体的な業種	行政庁・中央会に対する要望事項、または関心のある事項、意見等
食料品	製麺	今後とも引き続きよろしく申し上げます。また補助金、助成金等がございましたら教えてください。
繊維工業	衣料縫製	県のエネルギー補助金のハードルが高く、4回連続で不採択となった。もっと現実的に支援してくれる補助金を要望する。
一般機器	四日市	物価上昇、賃金アップ、人不足と事業環境は厳しい状況が続いている。中小企業の今後の経営環境が改善されるよう引き続き細やかな支援をお願いしたい。
サービス業	旅館	夏の予約状況も低調であるため、新たな需要喚起策を早急に打ち出してもらいたい。